実効

「実効｜*Work*」語彙集

ここは展覧会「実効｜Work」の一会場「語彙集」です

最新情報
NEWS：パンフレット会場は「語彙集」にリニューアルオープンしました

◇語彙集

展覧会や《カードゲーム》を制作するうえで働く「語彙」です。おしゃべりや編集中に生まれたものをまとめています。

「展覧会」

作品が見られているところが展覧会です。

「作品」

遊んだり、話題にしたり、人を誘ったり、いろいろな具体性が生まれる中心です。テーブルにあり、新たな出来事が起きます。「実効｜Work」には、《カードゲーム》という作品があります。

《カードゲーム》はマルチプル（複製物）で、それぞれ所有できます。

「実効」

「実効｜Work」では、作品は、観賞というか、制作というか、遊ぶというか、「実効する」ものです。《カードゲーム》だけなく、さまざまな作品は「実効」する可能性があります。

「具体性」

大会参加者が戦法について話題にしたり、プレイ中にデザインの改善点を発見したり、家族で毎日遊ぶうちにカードにあだ名がついたりするのは、作品にコミットしたときに発生するさまざまな「具体性」です。

《カードゲーム》をたくさん遊んできた人は、そのぶんたくさんの「具体性」を蓄えています。人々が同じテーブルについてプレイすることで、「具体性」をやりとりしたり、新しい「具体性」が作られたりします。

まだ遊んだことのない人は、これからだれかとテーブルにつくことで、「具体性」を受け取ったり、また新しい「具体性」をつくることもできるでしょう。

「実効｜Work」の空間は、「具体性」のやりとりによってあらわれます。

「テーブル」

「テーブル」とは、実効がおこなわれ、具体性が持ち寄られ、生まれる場所です。そこにはプレイヤーがいて、脇から見ている人もいます。

《カードゲーム》を遊んでいる卓では、カードや戦略、遊び方についてのさまざまな具体性が生まれます。

《カードゲーム》の持ち主(ホルダー)なら、どこにでも「テーブル」を生み出すことができます。

プレイによってその具体性は編集・交換されていき、プレイヤーやそれを見ている人は、島から特産品を持ち帰るように、「テーブル」から具体性を持ち帰ることができます。

同じように、このドキュメントや毎回の音声チャットも、文章の編集やおしゃべりをつうじて、展覧会の具体性を採掘している「テーブル」です。

「会場」

ほかの会場とつながって、作品が実効する場所です。会場の集合が展覧会です。

「プレイヤー」

《カードゲーム》をプレイする人です。人を誘ったり、誘われたり、通りかかったりして、「プレイヤー」は増えていきます。

「ホルダー」

《カードゲーム》の持ち主です。《カードゲーム》を購入したりプレゼントされたりした、個人・団体・場所などです。ホルダーはプレイヤーを誘って、いつどこでもテーブルを生み出すことができます。

「アーティスト」

自分の作品や自分の参加を取り下げられる人です。

作品がひとつもなくなると、しばしば展覧会もなくなってしまいます。
展覧会にとって、より重要なものが取り下げられるほど、展覧会がなくなる可能性は高まります。

「実効 | Work」では、会場によって、アーティストの役割を強く担っている人物が違ったり、複数いたりします。

「プレイ会」

《カードゲーム》をプレイする集まりです。すべてのプレイヤーが自由に開催できます。食事やゼミとまとめて開催されることもあるでしょう。

プレイ会を開催しやすくするための手引きがあります。
プレイ会の手引き／実効=Work

「テストプレイ」

制作中のカードを遊んでみることです。プレイ会のなかで実験したり、テストプレイを目的にしたプレイ会も楽しいです。

「インスタレーション」

大岩雄典は美術家として、インスタレーションを「空間」の芸術だと考えます。

物理的な空間に限らず、もっと抽象的な意味で捉えています。《カードゲーム》は、手番ごとに可能性が開けたり、変化するなかを進んでいくので、その意味でこの作品を「空間的」「インスタレーション」と呼んでいます。

具体性という概念が生成するのも、この展覧会の空間のひとつです。均質でなく、やりとりを生み、テーブルにかかわるその形式が、空間に実感を与え、意味をつくります。

ここは元々おしゃべりをするときのノート兼パンフレットでした……↓（2023.10.7注記）

⊙はじめに

1.

「実効｜**Work**」とは、《カードゲーム》という作品を中心にした展覧会です。
このパンフレット、SNS上の音声チャット、定期プレイ会、自発的な集まり、ウェブサイト、コアタイム（2023年末）……など、生成されていく「会場」を舞台とする展覧会です。

2.

「実効｜**Work**」には、さまざまな参加や、鑑賞のしかたがあります。
《カードゲーム》をプレイする人、このパンフレットを書く人、フォームにおたよりをくれる人、プレイ会を開催する人、《カードゲーム》の拡張カードを作る人、改造する人、改造したものに感想を言う人、コアタイム会場に来る人、コアタイム会場で何かを見せる人、それらを手伝う人、呼びかける人……（などなど）

3.

ここは「実効」の一会場であり、制作現場であり、パンフレットです。
パンフレットなので、これだけを読んだり、他の会場を見るとき手元に置いたり、読み飛ばしたりできます。
（＊変更履歴から、だれがどう書き換えたのか確認することができます）

現在の編集権限はコアメンバーにあります。コアメンバーは以下です。

- 大岩雄典（アーティスト）
- 西村梨緒葉（《カードゲーム》コーディネーター／大会レフェリー）

この展覧会にどんな参加（テーブルのつき方）があるのか、継続的に模索していきます。

◯話しかける(おたよりフォーム)

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdgFVHex4pvGX5lUQo4dPO1VAYEqN9Wc6BnOdeQdM0wYCdFTA/viewform

コアメンバーが見ます。なんでもどうぞ。
故意にコアメンバーを傷つける内容はやめてください。それ以外はなんでもどうぞ。

たとえば
・やりたいことがある
・話し中のことについて考えたことがある
・ストレージにものを置きたい
・プレイ会などをお知らせしてほしい

音声チャット中なら
・スピーカーやリスナーに伝えたいこと全般

◯おしゃべりの作業場

今わかってきていること

語彙としてまとまったものは語彙集に書かれます。

・コアメンバーは、話を集めるポータルになる。
・たくさんのテーブルがチェーンのように連なって、さまざまなプレイヤーからコアメンバーのもとにさまざまな具体性が届く。
・積極的でありながらも、マイナーであったり端っこであることができる。

・テーブルに否応なく影響してしまうものとして「環境」がある。
（MtGの新パックで導入される概念とか、サッカーのビデオ判定の向上とか…）
・プレイのしかたによって「環境」に抵抗したり、「環境」を遊ぶこともできる。

・まだプレイヤーではなく、興味を持っている人には、コアメンバーから積極的にプレイの機会を提供する。コアメンバーやほかのプレイヤーが企画したプレイ会を案内する。

・Twitterスペースも展覧会である。
・前後半に分けたり（テーブルが2回開かれる）、まとめて2時間くらい話すとちょうどいい。

・コアメンバーの体力や経済力の限界を超えない。

話題の倉庫

・協力する人が自由に展覧会に名前を刻めるようにする
・詩としての面を見直したい

▶️“誘う”をどう作るか？：
・新しく入ってくる人をふやしたい
・裾野をどう広げるか

▶️サブコアメンバー／ゲスト／日直／1日アーティストについて

▶️コアタイムのデザイン：
・コアタイムのカタログつくる
・組み替えしやすい机
・模様変えを考える用の模型
・野良コンポーネント
・序盤1週間くらい様子を見て、模様替え日をつくる

・会場のほうをなんと呼ぶか？／フェア／サーキットフェス／縁日／特設広場／ハレ／実効ガラ／カンヌ

▶️テストプレイ用のデータ配布：
・ロゴつきで配布しても販売とはぶつからない？

▶️展覧会にかかわるいろいろな語彙（を読み替える）
▹「展覧会」：シンプルな法則で感染・増殖するものにしたい

▶️リニューアル・リネーム候補
▹パンフレット
・notionに引っ越す　語彙集を読みやすくしたい
・音声会場の副読本、各会場の地図、リードテキストとして
▹ストレージ：オープンストレージ／キャビネット／引き出し

▶️つくりたいもの
・音声チャットの一部を文字起こし
・掲示板

・お絵描きチャット・常設展に会計シート
・写真館？
▹ドローイング増やす
▹プレスリリース作る
▹プレイ動画／イージーリード
▹フライヤー：
・「配る」「読む」「再配布する」「参照する」「幟にする」「携行する」
・月報との関係

▶️その他
・給料をどうする？
・参加者をどう守るか？

＊スペース用のホワイトボード

最近あったこと

・コアタイムこと「実効ガラ」の開催決定！
・プレイカレンダーもできた
・7/14,15,21,22はうそのたばこ店でプレイ会
・8/7はタリオンギャラリーで練習会
・タリオンギャラリーで夏大会（8月19日）！

話したいこと

・ガラのいろんな参加方法
・Discord会場の話

話していること・話したこと

展覧会場としてのDiscord
「アーティスト」概念を更新した
展覧会に通う
ガラ！
分業にハマっている
1日座長
プチテーブル公募
ガラにサービスが集まり、小さい社会になる
イベントが隣り合っていることで生まれるものがある

コアタイムカレンダー
内容はまだ完全な思いつきです。全部仮！ → ガラカレンダーになりました（**2023.10.7**注記）

日	月	火	水	木	金	土
			1 設営	2 設営	3(祝) 設営予備	4 トーク
5 大喜利	6	7	8	9 大岩不在	10 模様替え	11 トーク
12 大喜利 オールナイト	13 1日アーティスト	14 1日アーティスト	15 1日アーティスト	16 大岩不在 1日アーティスト	17 1日アーティスト	18 トーク プチ大会
19 プチ大会 トーク	20	21	22	23(祝) 大岩不在 1日アーティスト	24	25 トーク
26 大喜利 研究発表会	27	28	29 振り返り会	30 大岩不在 片付け		

イベント
・設営（飛び入り・遠まき）
・実効ロゴ揮毫
・大喜利（飛び入り・遊・遠まき）
・模様替え（参加・視聴）
・レクチャー（視聴）
・トーク：1時間半くらい（聴）

・研究発表会（オープンエントリー・聴）
・オールナイト（遊）
・1日アーティスト（店長）デー（招待？・参加）
・プチ大会（飛び入り・遊）
・振り返り会（飛び入り・遠まき）
・片付け（飛び入り・遠まき）

デースペシャル効果
・照明
・音楽
・香り
・床座り

会場にほしい
・机（天板＋脚）、椅子、プリンター、たくさんの紙、ディスプレイ、カメラ、筆記用具、ホワイトボード、撮影スポット、ベンチソファ？、カーテン、ロボット掃除機？、飲料テーブル、荷物置き・くつぬぎ
テーブルの用途
・メインデスク（運営用）／プレイ用／カードづくり／工作用／トーク等用

＊話のメモ

スペース外での話し合いのメモです

参考になるデザイン

NEO 表現まつり｜円盤に乗る場presents
https://noruba.net/neo-hyogen-festival/
Calendar - documenta fifteen
https://documenta-fifteen.de/en/calendar/?language_ids=2387
General Museum
https://generalmuseum-site.com/